

那須の歴史  
再発見!

# 那須町と 近現代の人々

vol.12



中央が高品師団長。その左が浅野隊長。「那須の太平洋戦争」より転載。

12月号は、戦時中、高久国民学校を司令部とした銚田教導飛行師団・第26飛行団の軍人達を紹介します。

銚田教導飛行師団は昭和20年4月、茨城県銚田町（現銚田市）から那須野飛行場（現那須塩原市埼玉）に第一飛行隊を移し、原町飛行場（現福島県南相馬市）に第二飛行隊、司令部を黒磯実践女学校（現黒磯高校）に移しました。6月に司令部を高久国民学校（現あたごハイツ近辺）に移すと、7月には飛行師団が再編成され第26飛行団となりました。

銚田教導飛行師団・第26飛行

行団では、次の軍人達が在籍していました。高品師団長（後に団長）は明治39年千葉県生まれの陸軍少将です。昭和13年、イラン公使館附武官昭和18年のドーウィン空襲を指揮した人物で、終戦時には団長でした。土井勤高級参謀は当時大佐。飛行第75戦隊長としてレイテ沖海戦等に従軍し、昭和20年3月銚田教導飛行師団司令部附となります。終戦時は、残務整理を行うとともに、戦後開拓に従事し中原開拓のリーダーとなります。しかし、公職追放となり那須町を離れました。倉澤清忠次級参謀は、東京都出身の陸軍少佐です。第6航空軍などで沖繩戦や特攻隊に携わった人物と知られています。また、浅野満祥は大正10年愛知県生まれの陸軍大尉で、昭和17年に満州・千振飛行場にもいた人物です。昭和20年4月に那須野飛行場に着任し、神鷲253隊長（特攻隊）として出撃予定も、空襲により出撃機が破壊され、そのまま終戦を迎えました。終戦後、中原

の旧陸軍馬補充用地に入植し、後に中原開拓農業協同組合組合長に就任しています。戦後、那須野飛行場を中心にいた第26飛行団の軍人・関係者たちは、そのまま那須に入植し、戦後開拓の一員として新しい生活を始めました。そのような方々の歴史を含め、自分たちが住む町の戦争の時代を知ることが、平和への道の第一歩になるのではないのでしょうか。



「こんにちは」振り向くとカウソンの向こうに男性が立っていました。広報モニターさんです。私と同僚はすぐに「こんにちは」と返します。私は、広報紙の掲載内容についての相談かなと考えながら近づいていきました▼「引越すことになりました。お世話になりました」モニターさんからの予想もしていない言葉に、私たち

## こんにちは 赤ちゃん



令和4年4月生まれ

おおひらなお  
大平菜桜ちゃん

なおちゃんは…

元気いっぱい!!!我が家の小さな怪獣ちゃん♡  
すくすく育ってね!

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

## 町の世帯と人口 (11月1日現在・住民基本台帳) ( )の数字は前月比

|      |                |     |           |
|------|----------------|-----|-----------|
| ・世帯数 | 10,645世帯 (-14) | 出生  | 3人 (-5)   |
| ・人口  | 24,348人 (-37)  | 死亡  | 30人 (0)   |
| 男    | 12,117人 (-28)  | 転入  | 55人 (-28) |
| 女    | 12,231人 (-9)   | 転出  | 61人 (+7)  |
|      |                | その他 | 4人        |

## 広報那須がスマートフォンなどで読むことができます



マチイロ

